

# 農業集落排水施設の

## 最適整備構想策定支援システム

最適整備構想策定作業の効率的な実施と  
農業集落排水施設のストックマネジメントを推進するため、  
施設の性能低下予測や最適整備構想等を自動で作成する  
「農業集落排水施設の最適整備構想策定支援システム」  
を開発しました。





## 最適整備構想策定のための業務支援

既存施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するとともに、更新や維持管理に要する経費を平準化するストックマネジメント手法の導入等、今後の施設整備の将来計画についても、広域的観点で策定することが必要です。

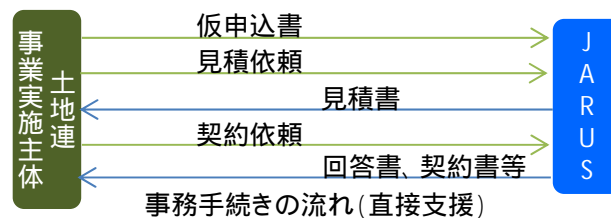
平成25年度からは「農山漁村地域整備交付金」により、農業集落排水施設の劣化状況等を調べる機能診断調査及びその結果に基づき施設機能を保全するために必要な対策方法を定めた最適整備構想の策定を行うことができるようになりました。

当センターでは、最適整備構想策定支援システムを活用した業務支援を実施しています。

業務支援の形態としては、当センターが最適整備構想を作成する方法（直接支援）と、当センターからのシステムの貸し出しにより事業実施主体、土地改良事業団体連合会において作成する方法（リース支援）の2通りの方法があります。

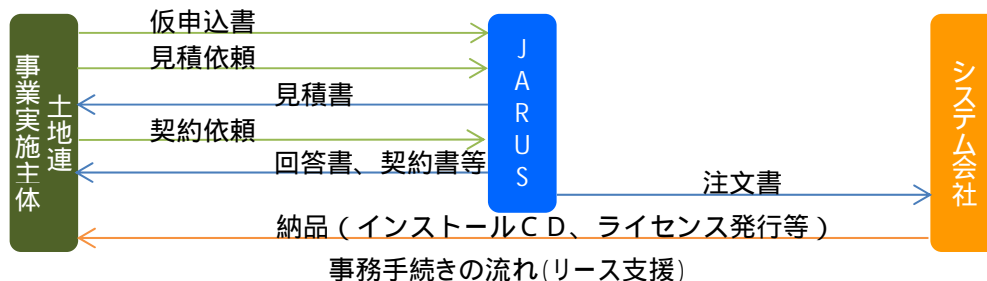
### 直接支援

事業実施主体、土地改良事業団体連合会において、機能診断結果を基に、施設情報入力データシートを施設種類ごとに作成していただいた後、当センターで入力データを確認し、性能低下予測、実施シナリオの作成、機能保全コストの算出、対策実施時期の最適化、帳票出力まで最適整備構想策定に係る一連の作業を実施します。また、現地確認等による情報からの考察及び今後10年間に於ける市町村ごとの改築更新等の計画について検討を行います。



### リース支援

当センターから、有償で本システムをお貸しいたします。事業実施主体、土地改良事業団体連合会で、最適整備構想策定に必要な情報を入力していただきます。なお、システムの利用の業務単位は、市町村を1単位としております。(例えば、同一市町村内で複数地区の検討の場合は1業務。2市町村で1地区ずつの検討の場合は2業務。)



### システムの動作環境要件

- ・OS : Microsoft Windows® Vista / 7 / 8
- ・CPU : Pentium4 2.4GHz以上
- ・メモリ: 1GB以上
- ・空き容量: 約100MB以上
- ・必要ソフト: Microsoft Excel 2003 / 2007 / 2010

### 業務費用

- ・市町村数、地区数等により金額は変わりますが、目安として、1市町村3地区の場合、  
直接支援 : 約260万円 + 旅費等諸経費  
リース支援 : 約81万円 値下げしました!  
となります。  
正式な見積りは諸条件により変わります。

集落排水施設に関するお問い合わせは、JARUS若しくはお近くの都道府県水士里ネット(土地連)へお気軽に。



### 一般社団法人 地域環境資源センター

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34番4号

TEL.03-3432-6282/6284 FAX.03-3432-0743

<http://www.jarus.or.jp> mail:soudan@jarus.or.jp